

昭和47年1月12日発行

S·H·C 横浜支部

横浜市港北区大庭町 2127

〒220 竹田 明

編責 伍々木美智子



カ505回東日本行

雪国連盟スキー

Z 圖 Z = ZZ 日

(前夜祭 2泊3日)

19日 新宿 ————— 信濃之上 ————— 横山スキー場

22日 初心者 ————— 信濃之上 ————— 八王子 ————— 東神奈川

料金 約 8,500

旅行品

弁当1食 スキー用具一式 ワンカラスまたはゴーグル
帽子・手袋・靴下予備 防寒具(セーター・マフラー等)

宿泊先 白馬天池スキーハウス TEL 02618(3) 2131

会場開設 2月19日(土) 横浜駅7・8番線ホーム地下道上
P.M. 9:30

係 伍々木美智子 TEL (871) 4122

2月例会までに、必ず「申し込み下さい」
ただし、宿の予約、座席指定券等の關係上、申込先着
12名に2日前切りと致します。

第20回支那山行報告

男山・天狗山 12月5日

（参加者）（係）山田 遼

入保田治 石川一男

横山勝利

吉岡信子 渡辺蘭代

齊藤隆子

脇美英子 小林正江

吉田典子

北村多美子

新宿

ヒースタイル 新宿

小瀬沢

信濃川上

大深山中央

馬越峠 天狗山

男山

佐久云頃

佐久云頃

なるほど美しい。なるほど立派だ。なるほど
真白だ。信濃川上駅からバスで大深山中
央へ。白い朝の町だ。立派な道と、トラッ
クの沙ぼこりに悩まされたが、岩肌の天狗
山。後にハケ岳、太陽と、青空の白い月に
囲まれて、のんびり出発。急なカヤトの原
を通りぬけたら、馬越峠の道標と、御座山
が見え、遠くに赤や青の屋根をした小さ
な村落が見えた。「オレ、あんな村の村長
さんやりてえなあー」夢のある話に、耳
をかたむける。

小瀬沢駅から、始発の小糸線に乗り、かえ
朝食。窓の外が明るくなると、山男達七八

ツが見えるゾー」。女性達、目を輝かせる。

山のある小さな町には
秘密が似合いそう

だからいつか あの人とふたりで

旅をしたいと思つたのです

赤いリュックをせぶつマ

カメラはもたないつもり

ひざまで、想い出は

気持ちの中に残すものですから……

こんな話を思い出しながら、朝食オニギリ。

新ハイの皆さん、要よりパンが小伙子。そぞくひとと、広瀬への道標のある所まで下

元気いっぱい天狗山^{1851m}山頂へ。小さな山

頂から、素晴らしく入る。御座山が印象

に残った。どんどん強くなる風と共に、男

山への尾根道へ。岩だらけの足場と、千曲

川を横口でにらみ、春ぼい道標に(この日

き違う)なたは遊び上手。(ほくそえみ、男

山^{1851m}の山頂へ。思つたより狭い山頂だが、

周囲の山々は、すべて顔をそろえている。

(正面の八ヶ岳を見くて、ため息二回)

皆さんボーとしていた。しかし風は相当強

く、山が遙れる様にさえ感じられた。(女性

達の美しさによるめいたのかなあ……)

そぞくひとと、広瀬への道標のある所まで下

り、上品にくつこ風食。帰りは、急勾配の踏

み跡をたどり、一瞬にして部落へ。しかし

佐久広瀬駅まで行く道らしきものがないと

いう。稿のない川もこまる。どうが、線路

をたどりて行くのも結構。がーんを渡り

少し長生きした事を喜び、車やへ、車や何

が起つたかは、忘年山行へ出席した人達だけが

秘密です。まずは楽しい忘年山行でした。

お知らせ

◆新入会員紹介

駒田口由子

西区浅間台27

TEL (312) 0177

◆2月例会の係は、竹田さんと、脇さん
です。個人山行等の原稿は、丘記へ

竹田

神奈川区西寺尾町十五丁目莊

脇

平塚市代官町一四一ニ番

◆当月をもつて、山田と伍べ不才委員の
担当役割が終了致しました。尚ほ、
お役にもたちませんで、申し訳ござひと
思ひます。

行事報告

12月5日

第24回支部山行(係) 山田

男山、天狗山 参加11名

12月8日

例会於婦人会館出席 名

1月9日

第24回支部山行(係) 各保田

ミスティーバイク出席 名

行事予定

2月9日

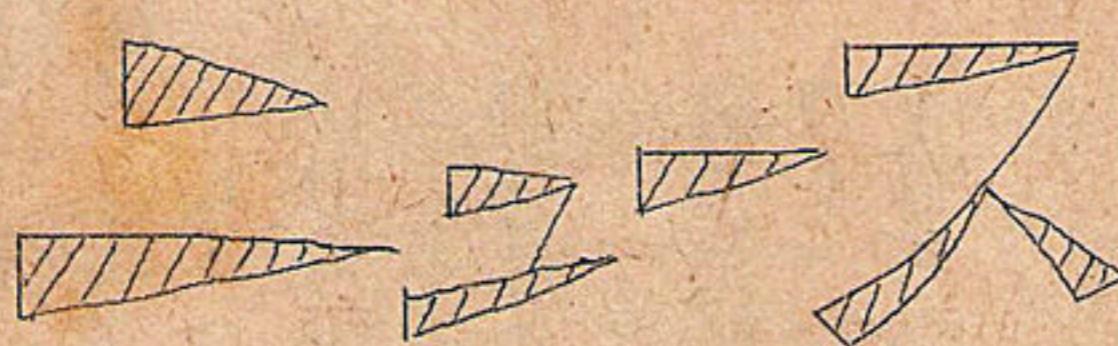
例会於婦人会館

例 会

2月9日(水)

P.M 6:30
9:00

於・婦人会館
小會議室



昭和47年2月9日
新ハイキング横浜支部
〒221横浜市神奈川区
西寺尾町1545
さくら庄 竹田 明
(担当)竹田明・脇美英子

第206回支部山行

高尾山歩道

3月5日

日帰り 雨天中止

- 歩程 6時間
- 費用 約700円
- 持物 手当、雨具、防寒具、水筒 その他
- 集合 5日(日) 午前6時40分

東神奈川駅横浜線木一ム上
6時45分八王子行乗車。

- 地図 1/5万上野原
- 組 脇美英子・阿部早苗

のんびりと小仏峠から陣場山まで尾根歩き
をします。新入会員大歓迎

-2-

オ一回ミステリーハイク

△神 楽 山△

参加者 係 久保田 治 中野 善雄

石山武 鈴木利男 吉原正夫 渡辺関代
小林正江 伊藤信子 鈴木滿代
北村多美子 福田智恵子 松井百合
脇美英子 他二名

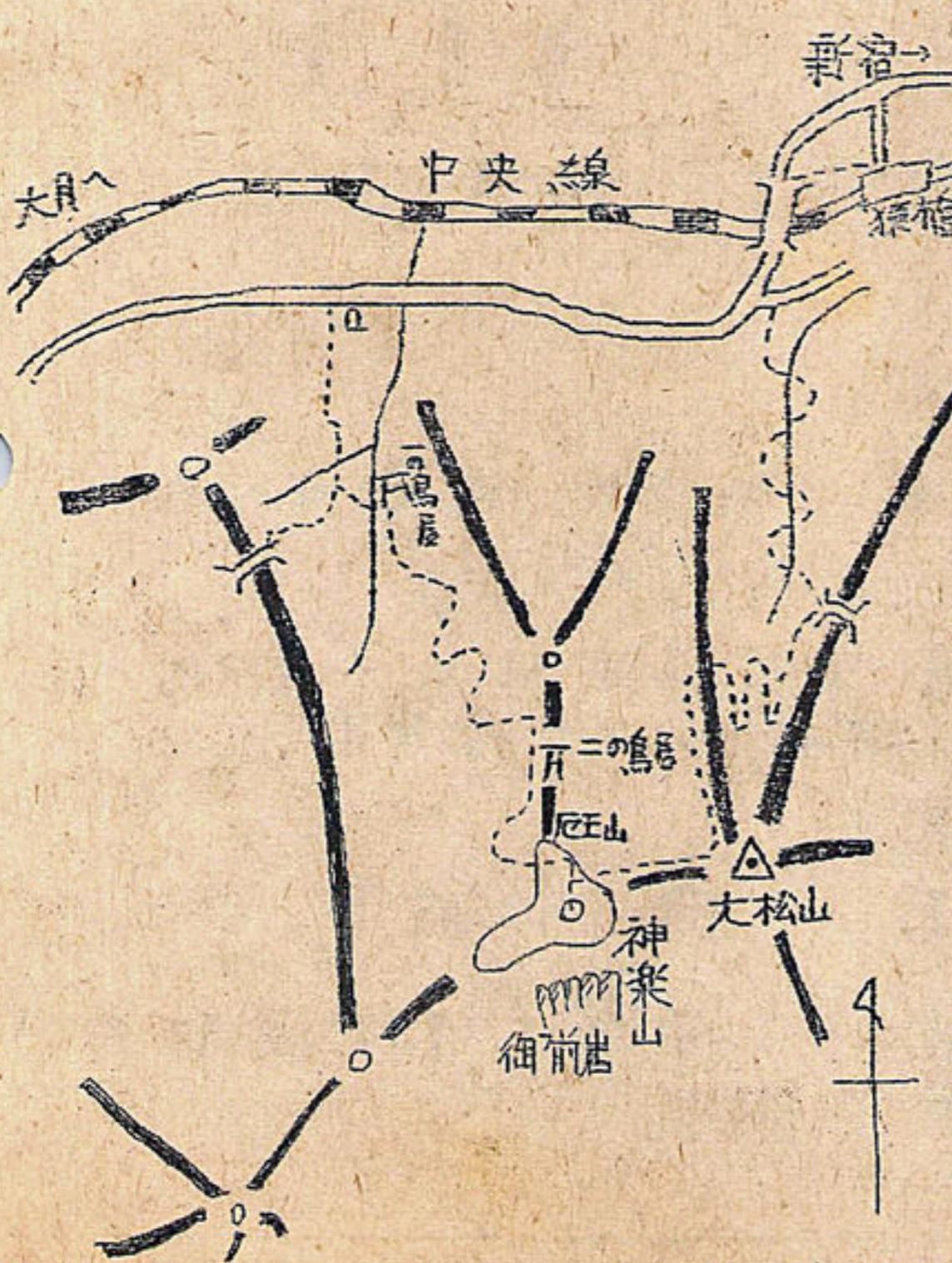
コースタイム

| | | | | |
|-----|-------|-------|------|-------|
| 猿橋駅 | 9:55 | 10:05 | 二ノ鳥居 | 10:45 |
| 頂上へ | 11:50 | 13:50 | 分歧へ | 14:10 |
| 猿橋駅 | 15:10 | 14:20 | | |

頂上へは昼前着。頂は狭く、片側はスパツと切れてる。白い富士を眺め、オデンを作り皆で試食。無事食べ終えた後、歌を歌つて、約二時間程休んだ後、下るが、道が解らなくなり、小枝をかきわけ、苦労しながらやつと抜ける。時間があつたので、奇橋、猿橋を見に行く。支柱を使用してない橋と言う事で、めずらしいそうだ。

今年初の山行は、小学生の女の方にハツパをかけられ通しの山行であった。

オ一回ミステリーハイクと言う事で、何処の山か解らない。電車の関係で出発が遅れ、目的駅には十時近くに着いた。駅前で自己紹介の後出発。歩き始めると身体がボカボカしてきた。鳥居で小休止。小学生の女の方にハツパをかけられ、ハイペースになり、方二ケループとの差がひらく。ほこら前で顔合せした後、道を探し、岩場を登る。チヨットし



四十七年度委員の投票、果をお知らせ
いたします。(1/30〆切)

出状50通中 回収36通

△代表△

| | | | |
|--------|-------|--------|----|
| ○山田 | 久保田 | 鈴木 | 石川 |
| 15 | 15 | 18 | 20 |
| ○○○脇 | 吉岡 | ○ | 石川 |
| ○○○佐々木 | 石川 | ○ | 3 |
| ○○○善波 | 渡辺(三) | ○ | 1 |
| ○○○山田 | 山田 | ○ | 3 |
| ○○○竹田 | 渡辺(三) | ○ | 1 |
| ○○○金木 | 山田 | ○ | 1 |
| 15 | 19 | 20 | 24 |
| 15 | 23 | 24 | 32 |
| ウ季員△ | ア部 | レ渡辺(三) | 横山 |
| | 人保田 | 11 | 12 |
| | 伊沢 | 13 | 13 |
| サ木 | 石井 | 石山 | 石井 |
| 以上 | 2 | 4 | 7 |

| | | |
|------|-------|--------|
| 下下下田 | (宮城県) | シモカガタ |
| 行行林 | (千葉県) | オドロバヤシ |
| 下案下 | (東京都) | シモアンゲ |
| 千々石 | (長崎県) | チヂワ |
| 下津 | (茨城県) | オリツ |
| 下田 | (新潟県) | シタダ |
| 下松 | (山口県) | クダマツ |
| 木下 | (千葉県) | キオロシ |
| 木下 | (滋賀県) | アケビバラ |
| 麻績 | (長野県) | オミ |
| 山女原 | (長野県) | カムリキ |
| 冠着 | (長野県) | セバ |
| 洗馬 | (長野県) | ノゾキ |
| 及位 | (山形県) | トドロキ |
| 蠶木 | (青森県) | ゴサンネン |
| 後三年 | (秋田県) | キリキリ |
| 吉里吉里 | (岩手県) | ツル |
| 都留 | (山梨県) | |

【お知らせ】

個人山行

3月19～20日（日～月曜日）

一泊二日

残雪の飯綱山 健脚向

申込み 鈴木国之
冬山装備一式

TEL (741) 2642

【行事報告】

1月9日 オ204回支部山行

オ1回ミステリーハイク

神楽山 参加者 16名

1月12日 例会 出席者 19名

【行事予定】

2月20～22日 オ205回支部山行

樹池スキー (係) 佐々木

例会
3月8日
(水)
P.M. 6:30
～9:00
於 婦人会館
小会議室

3月の例会・ニュースの係は
善波さんと吉岡さんです。
個人山行等の原稿は左記へ
善波 平塚市新宿一、二二〇
吉岡 緑区長津田町一、四六〇



昭和47年3月8日
新規行会 横浜支部
〒221 横浜市神奈川区西尾町
1545 エクラ庄 竹田明
(担当)善波英雄 吉田信子

オノロウ回 支部山行

二子山 (本部集中)

4月2日(日) 前夜立ち

・コース

・費用 約800円

・持ち物 弁当・防寒具・雨具 etc

・集合場所

・地図 $\frac{1}{5万}$ 五日市・丹波

・係 鈴木国え TEL 045 (741) 2642 (中止)
石川一男 フ (761) 1317

早春の一日奥多摩の山に登ります。
やっとあなたをやさしく待つておることになりました。

オニ〇五回支部山行報告

二月二十九日

樹池スキーセンタ

(係)佐々木美智子(参加者)

鈴木国元

山田進、吉原正夫、北村玉江

賀美英子

阿部早苗

(一日目)

前夜23時30分発座席指定急行アルファス銀嶺
一等にて、席の心配もなく、ゆっくりと席つ
く、六時すぎ信濃林上着。タクシード、樹池

へ、七時三十分自ほじなく一日先に現地に

来こった山田さん宿につき、窓よりケレン
の見れたせらるる雪にて朝起きてヨツシケし

(二日目)

窓より人のすべるのを見ていうと、じつとし
て、いろいろなくなり、早くに出かけのことにし
た。玄関でスキーキづけマットにマット。
前夜は夜行電車の中、よく寝ていないので
今日は無理すべからずと、金員一致した意見
で、山田さんを先生として半前中は書道を行
を流す。

スキーに慣れると、斜度のない下のゲレン
では皆不満顔、午後は上のリフトを使い自

由滑走とした。午後は、しかし風が強く、今
日は早くこ引き上げようという事で、三時す
き、肩に引き上げる。午後から降り出した雪は
時間がたつにしたかい、大降りとなりやみそ
つになく、今夜一晩降り続くだろう。明日は
絶好なスキーコンディションだ。元気者数名
はシンくと降る雪の中、ナイタースキーに
出かけて行つた。自分の意のままにスキーガ
動いて上元気で帰つて来たが、寒いのにはま
いつたとのこと。

昨日よりの雪が今日も降り続キ、まだしほ

て、今日は行動時間もあ
るが、ツアートに登かける事にしたが、天候
が悪く、馬の背コース上部のリフトが動かず
動かず、タリフトを下に使って遊ぶことに
した。すると、松達の宿や、親の原、鐘の鳴
き立たせん等がはるか下に見え、ケレンテ
ム立たせん等がはるか下に見える。午後から
は天候もおちつき、自転リフトを使い、乗し

（ハ）レンティンチユーパーを作った。

夜はワイスキーニの講習で渠し、一時で

新役員のプロフィール

（代表）

横浜市磯子区岡村町

山田進氏

竹橋七六三ノ二
新し代表。それだけに彼に期待する新ハイ

すべての時間がりないと思うと一分でも早く
出かけよう。このまゝ人の心理か。六時半起
床、七時食事、八時出発と行動が早い。その
かいあつて、すいた不レンティニそれをれ思
いのシユーパーを作ることが出来た。

この三日間、天候はまあ（でした）が、白

馬三山を一日も見る事が出来ず、残念でした
たが、ケレンティが広いせいか、すいこいるケ
レンティを思、切りスベリ、満足なスキーニ行
は二十二時横浜にて、無事終了いたしました
——佐々木、美智子——

新し代表。それだけに彼に期待する新ハイ
メンバーの内、男では最高ではないか。きっと
彼は今年はやつてくれるだろう。

竹田明氏

横浜市神奈川区五四五
ナミサカ

鳥三山を一日も見る事が出来ず、残念でした
たが、ケレンティが広いせいか、すいこいるケ
レンティを思、切りスベリ、満足なスキーニ行
は二十二時横浜にて、無事終了いたしました
——佐々木、美智子——

新し代表。山見に代表をバトンタッチした新
メンバーの内、男では最高ではないか。きっと
彼は今年はやつてくれるだろう。

石川一男氏

横浜市磯子区岡村
町七三五

「なぜ山に登るか？」を
と辻のきかなへ問へを發
すゑ人かいゆ。その人は
恋をしたことがないの
だらうか

横浜市役所勤め。彼の山行はゴーインングア
イウエー。そして山に入ると彼は本当に頼り
かいの五夕男だと、う気がすると女性は言

う。又、版画のセニスかバックなどいう隠れ
た趣味を持つところ。

善波英雄氏 平塚市新宿二三〇

何となく頼りな、男。ミニハス母性本能、山行の回数も減り、仕事の関係と本人は言うが弁解のような気もする。

佐々木美智子 女史

横浜市三崎町

役員から退く吉岡さんの変りに会計を立て、彼女は職場外極楽から平穏に変わった。そんなワケでもないが、彼女の好みは山からスキ一についたような気がする。スキのうまさは新ハイの女性では七力。佐々木さん、これからも山に一諸に行きましょう。

〔お知らせ〕
個人山行

幕山・南郷山

3月12日(日) 出帰り

ドンクリ、お目で、ちづと彼女をみると

やムネコのよう奄気無さる、彼女がケルリ、
の中に入ると明るくなき、老人な雰囲気で
もある。

渡辺三世子 女史

横浜市戸塚区鍛

阿部早苗 女史

横浜市南区井土ヶ谷
土田ノリ

童楽の先生、彼女は頼りがいのある女性。
と男性諸君の一一致した意見だ。山行はキスリ
とよく出かけるようだ。これからを期待する。

脇美英子 女史

平塚市、伊吉町
古ノ西

オーロ王國支部山行・磯走スキ

参加者

七名

来用 1月22日(水)

婦人会館 小会議室

昭和47年4月12日発行

SHC 横浜支部

横浜市磯子区岡村町竹橋763-23

〒235 山田・進

編 貢 石川一男、渡辺三世子



オ 208 回支部山行

展望と静けさの山

四阿山

2332.9M 健脚向

5月21日(日)

歩程 約7時間

持ち物 弁当2食、雨具、防寒具等

費用 約3,000円

係 竹田 明、吉田 典子

(タクシー代含む)

集合 20日(土) 21:30

タクシーの都合で申込制

横浜駅7,8番ホーム地下道上

申込先 吉田へ

(往) 上野発 0:22 信州5号乗車予定

TEL 621-0745

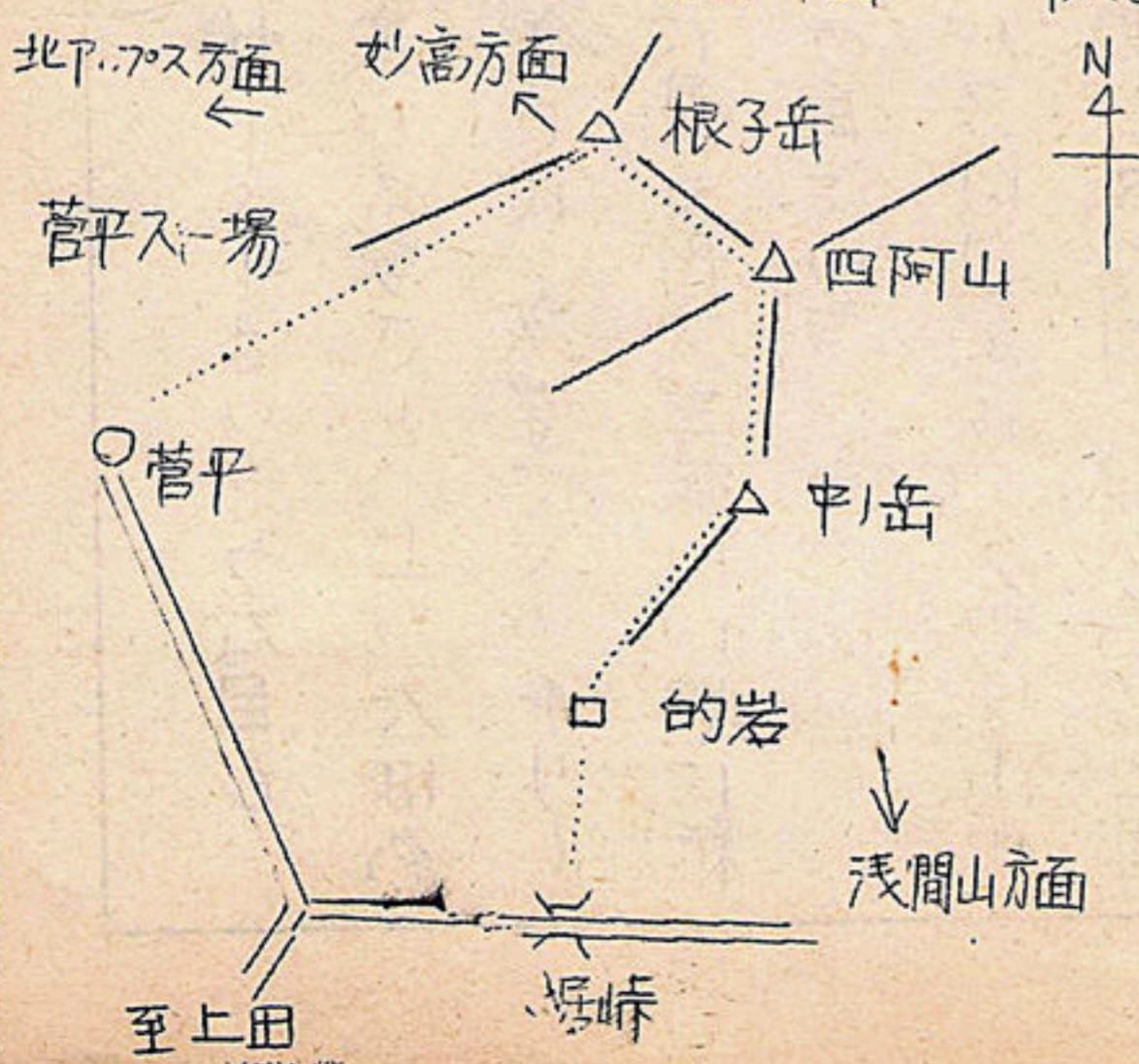
(復) 上野着 18:19予定

予定コース 上野——上田——鳥居峠……的岩……独標……中岳

四阿山

根子岳

菅平——上田——上野



日本百名山の一つ。
長野と群馬との県境
に位置するこの山は
展望360度。

残雪に輝やく北アル
プスの峰々があなたを
観迎えてくれることで
しょう。

地図 1/5万 須坂

オ20回支部山行報告

「奥高尾縦走」 3月5日

（参考者）（係） 脇美英子 阿部早苗

鈴木国之 吉原正夫 加藤 繁
渡辺興代 足立久子 松井百合代

小林正江

ヘユースタイムレ

東神奈川 6:45
陣場山 7:48
八王子 8:21
陣場高原下 9:10
明王峠 11:35
（昼食） 11:45
高尾山 13:00
13:55 景信山 9:13
14:05 陣場山 10:35
14:27 小仏峠 11:00
14:33 清滝 14:33
15:45 高尾山 16:00
16:37 テーブル山頂駅 16:30
16:45 東神奈川 18:58

早起きでまだ閉じてしまった目も、
横浜線のいつも変わぬ寒さと、上ったばかり
の太陽光線の鋭さに、次第にパチリし
てくる。窓越しに見る丹沢主稜は、やに新
鮮な山容で我々の目にうつった。

八王子からのバスは、童謡「タヤケ小や
け」の発祥地を過ぎると間もなく終点上案
下。雲ひとつない絶好のハイキング日和だ。
林道を和田峠まで来ると、顔はほこり、少
く汗ばむ程の暖かさに「春」を感じた。
此から階段を勢いよく登つて、陣馬山頂。
始めて展望が開け、まず富士の真白な雄姿
が目に飛び込んできた。丹沢、大菩薩、

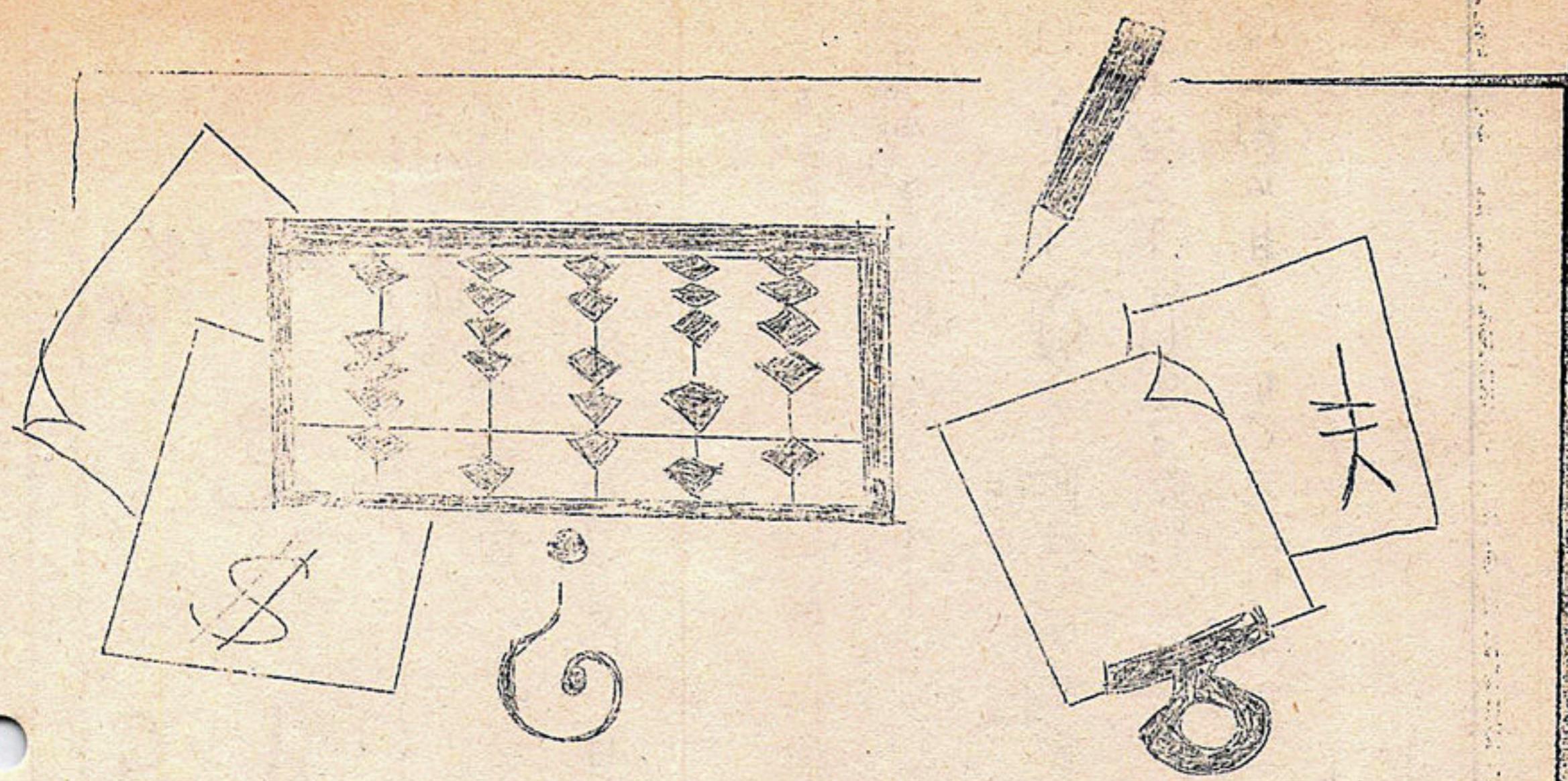
浅間山、そこ近くには扇山、相模湖とほしりままでの展望だ。でも立ち並ぶ茶店にはいささかがッカリ、早々に足を縱走路へ向ける。我々の残雪の、まだ踏まれていなり場所を見つけては「ザクツ」という音を楽しんだり、霜どけのグチャく(道にチニズつたりしながらも、我々には話しそう、笑い声が絶えることがなかつた。遠く江の島まで見えた透明度の高い春の空氣。でも暖かい日射しが半減させたようだつた。でも少し寒かつた方が良かっただゆ。』とは係の影の声。

老若男女を問わなし、この山道の通行人。その人達への挨拶は、单调な縱走路の大學生的刺激のひとつとなつたような気もする。景信山を通過、小石峠へひと下りであつた。足を痛めてしまつた吉原さんの「大丈夫、行こう」の一言でさうに高尾山へ向う。峠から城山を過ぎて間もなくの所で、東海自然歩道に入る。のんびりと歩っこいるせいかどこかの公園を散歩してこりのようだ。自然歩道の始点、高尾山。山頂は観光客やアベックが多く、登山姿の我々が似合わない。コンクリートの参道を歩いていふと直ぐこ

吉原さんの足に口実をつけケーブルで下る。帰路は交通機関のタイミング良く、7:00 東神奈川で解散。「山」の良さより、透き通った空気を吸い、陽春ノ一日を歩けたこと」のうれしさの方が印象に残る山行だった。

(阿部記)

| | | 6月 | 支那対抗ラリー | 昭和7年度山行計画 |
|-----|-------------|-----|---------|----------------------|
| 3月 | 三ッ峠 | 7月 | 鳥帽子・湯ノ丸 | 4月 霧降高原(第一日曜日) (久保田) |
| 2月 | スキー | 8月 | 丹沢 沢登り | 5月 阿佐谷(久保田) |
| 1月 | 竜爪山 | 9月 | お月見山行 | 6月 浅間周辺 (鈴木満) |
| 12月 | 忘年山行 | 10月 | 子持山 | 7月 山田 |
| | | | | |
| 脇 | 吉善渡佐育渡阿吉石山田 | | | |
| | 虎波關木藤三郎岡井 | | | |
| | 辺々木 | | | |
| | 辺々木 | | | |



☆ 間、切手 1,720 円分現物貯蓄小額券

| 取 扱 人 | 43,528 円 | 例 会 貯 金 | 13,960 円 |
|--------------------|-------------|-----------------------|----------|
| 会 員 50,750 | 連 絡 金 | 10,020 | |
| 定期貯金 | 1,149 | 二 次 印 刷 費 | 2,475 |
| 雜 收 入 100 | 「大」 | 〃 | 14,405 |
| 備品購入費 | 21,440 | | |
| 山竹補助費 | 3,700 | | |
| 雜 費 | 3,896 | | |
| 郵 便 匯 款 | 35,631 | | |
| 計 | 95,527 | | 95,527 |

昭和 46 年度 会計報告書

お知らせ

個人山行

○ 4/15(土)
16(日)

両

申込み

山

田 進

761-1938

15日朝立ち

○ 4/15(土)
16(日)

申込み

夜行日帰

741-2642

久保木国之

741-2642

鈴木浩

741-2642

○ 4/29(土)
5/5(金)

申込み

上記期間中のいづれかの日

金木国之

お譲りします！

黒のトレント。新品同様です。
詳細は

駒田日出子さんへ 31250177

☆ 5月例会は8時切り上げ!!

さあー、その後はどうへ？

みんなで愉快におしゃべりましょう。

お願ひ

○ 12月の忘年山行地と2月、3月の係りが
決まりました。みんなの協力を待ちして居ます。

○ 本部会費は支部を通して納入して下さい。
担当 阿部 早苗

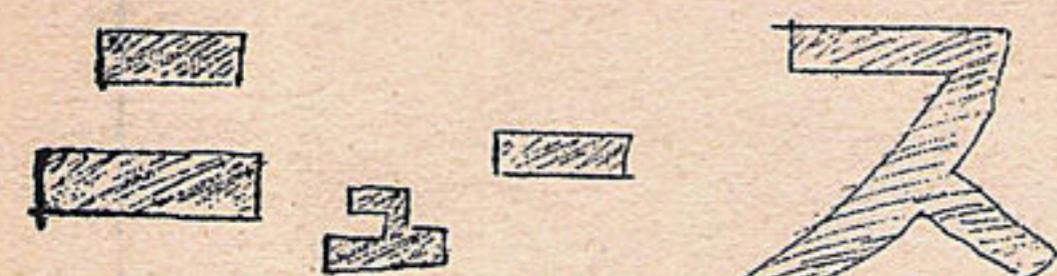
○ 個人山行がありましたら、ニュース担当者
にお知らせ下さい。
5月担当 渡辺三世 0467-4537852

行事報告

3月9日 例会於婦人会館

4月1-2日 オ207回支部山行
参加者 10名
二頭山集中

例会
5月 10日
(水)
PM 6:30
?
於 婦人会館



昭和47年5月10日発行
SHC 横浜支部
横浜市磯子区脚木町竹橋763-23
〒235 山田進
編責 石川一男 渡辺三世子

オ 209 回 支 部 山 行

支 部 対 抗

新ハイキング・ラリー

霧 降 高 原

6 月 4 日 (日曜日)

〈持ち物〉 弁当 2食、雨具、防寒具等

〈集合〉 3日(土) 22:00

横浜駅 7、8番ホーム地下道上

〈係り〉 久保田 治 TEL 241-5380

鈴木 満代 331-7270

〈支 部 対 抗 ラ リ ー と は 〉

定められたコースを一定時間に正しく歩き、自然に関する出題に正解を出し、平均時間に最も近かった組を入賞とし、支部対抗の形で優勝を決めるものです。

オ 210 回 支 部 山 行

特 別 山 行 オ 1 弹

高 妻 山 乙 妻 山

(2,352.8m) (2,315m)

6月 17(土) ~ 18(日)

(雨天決行) 16日夜発 | 泊2日

<コース> 16日 上野発 23:47 妙高 5号

17日 黒姫駅 → 戸隠キャンプ場 → 一不動
→ 五地蔵岳 ← 高妻山 ← 乙妻山
一不動避難小屋泊

18日 前日雨天の場合同コース。 晴なら戸隠山へ。

<歩 程> 17日 約 8 時間 18日 約 5 時間

<費 用> 約 3,500 円

<携行品> 弁当 2食、雨具、水筒、シュラフ etc

<集 合> 6月 16日(金) 模索駅 PM 9:30 7・8番線地下道

<係> 山田 進 ~~東山~~ 山田 進 761-1938
久保田 治 241-5380

乙妻山 △

<地図> 1/5万 戸隠

高妻山 △

△ 黒姫山

戸隠山 △

△ 五地蔵岳

合

一不動

戸隠奥社

中社

△ 飯綱山

新しい人も、古い人も、小屋の中
で語りあいましょう。 一人でも多く
の参加を期待しています。
(シュラフのない人係りに相談にて下さる。)

第207回 支部山行報告

三頭山集中 4月1日(火)

へ参加者▽ (係) 鈴木国之、石川一男

吉岡信子、渡辺三世子、脇美恵子
善波英雄、横山勝利、井出眞晴

青木美枝、益子仁

計10名

ハコースタイム▽

1日 横浜 6:45 → 武藏小杉 → 立川 → 奥多摩駅

氷川山荘泊

2日 山荘 8:00 ← 8:05 奥多摩駅
1ヨ山 10:12 ← 11:15 シネ泣峠
(東峰往復10分) 14:00 ← 15:30 原
8王33 横浜

20:30

2日 8時山荘出発。奥多摩駅へもどり、峰谷橋まで
バスに乗る。間のほとりのサクラはあと一週間もす
れば見頃となるだう。

小河内神社からドライブ、橋を渡り、いよいよ
登りにかかる。イヨ山、シネ泣峠となりの登降が
続く。峠を少し下りた所で少々早めが昼食とする。
いつもながら熱い紅茶は最高のじとう。

さあ、山頂までは一かん張り。やつと三頭山中

峰と東峰の分岐点。東峰が集中場所とのことでサツブ
を置いた中峰へ。何と、中峰の方が広いのにこちら
で集中するという。サツブを持ててそこ下った本
部の方、云々かと。集中行事をしている間に、
一部の者が東峰を往復。時間かなりので終らなかつて
に失礼させていただき、原へと下る。気持ち良くて
ひびきのする笹尾根は次回にゆすり、山頂での富士、落
葉につまつた山道等、早春の山の一日を胸に、バス
にゆられて、上野原駅へと向う。

1日 集合時間厳守して早々に横浜を出発。
乗り換えは順調すぎても、すべて駆け足。
一路氷川山荘へと。

一口感想

。苦しかったの一言。でも、けんなのはげました。
無事帰ることが出来て感謝一です。

。早春の三頭山は本当にすばらしく。特に枯葉の
ジュータンの感触がビブライムに伝わつてくのが
いち良かつた。

。今年初めでの山行。すばらしい天気に恵まれて
気を良くしてます。

。立川でかけ足、ドラムカン橋ゆき、昼食は
パンと紅茶、三頭山から富士がきれい。

落葉のラッセル。上野原でそば食べ、うれず残念。

。薄黄色のマンサクの花は、奥多摩の山々と同じ
ように寒に慣れんに、ジミに、ひっそりと咲いて
いた。

。もし腹がへつて／＼しょうがないヨー。

。初めて終りまで時におやれたため、良い運動

ができました。

。「三頭山とうだつた?」「すごく良かったわよ、天気
も雰囲気も。一度は歩いてあがいたコースの一つね。
今日の続きの後藤、ぜひいつか歩きたいわ。」
集中なうで人が多いかと思つていたが、高瀬のとつ
たコースは以外と少なかつたうでうれしかつた。
特に下りは気持ちの良い尾根で、こりまま生藤山まで
行きたり位だつた。今度は筈尾根に行きたくなあ!
奥多摩三頭山ハイク。今度で二回目。新緑にはちつ
と早い。天候が良かつたので楽しかつたです。

。5月には木曾路に行きたりですぬ。
。白い大菩薩連嶺をながめながら、くさ原にゴロリ。
ひざまでもぐる落葉のラッセル。いいですねー。



昭和46年度山行報告

| | 支 部 數 | 回 部 山行 | 月 日 | 山 行 地 | 參 加 人 數 | | | | | | | | | |
|-------|--------------|--------------|--------|-------------|------------------|-------|--------------|--------------|------------|----------|-------|-------|------|---|
| 206 | 205 | 204 | 203 | 202 | 201 | 200 | 199 | 198 | 197 | 196 | 195 | 194 | 193 | |
| 3月5日 | 2月 20~21日 | 1月9日 | 12月5日 | 11月14日 | 10月 10~11日 | 9月26日 | 8月 28~29日 | 8月 21~22日 | 7月 4~5日 | 6月6日 | 5月23日 | 4月18日 | 牛ノ寝山 | 6 |
| 奥高尾縦走 | 梅池スキー | オーバーミステリーハイク | 男山・天狗山 | 浜石岳 | 会津駒ヶ岳 | 平標山 | 長岳キャビン合同キャラ | 15周年記念キャラ | 丹沢 | 鳥鳴子・湯ノ丸山 | 谷川岳 | 雨天中止 | | |
| 9 | 7 | 13 | 11 | 7 | 5 | 5 | 25 | | | 9 | 17 | | | |

昭和46年度個人山行回数

7回 渡辺(闇)、勝

6回 久保田、吉岡(達)、山田

5回 小林、石川、松井、横山

4回 斎藤、吉原

3回 鈴木(国)、石井、阿部、鈴木(利)、鈴木(清)

北村(多)

2回 石山、竹田、佐々木、足立、北村(玉)、渡辺(三)

中野、吉田

1回 関野、吉岡(節)、喜川、伊藤、善波、恒見、

茂木、加藤、井出、白井、石塚、増田、駒田



「しおり」24号 原稿募集

00.

「しおり」の係りが決まりました。前回出せなか
った人も早目に原稿を書いて、二人が悲鳴をあげ
るほど、一人でも多く、たくさん出してこなさい
ましょう。

あて先 石川 一男

(235)

磯子区岡村町

735

吉岡 信子

(227)

緑区長津田町

1460

| 行事 報告 | |
|----------------|-----|
| 4月 12日 例会診婦人会館 | 21名 |

5月 21日 オ208回支部山行

四 阿山

係り 竹田 明、吉田 典子

新入会員

朝倉 修三

横須賀市若松町

2-30

皆様へ、よろしく！



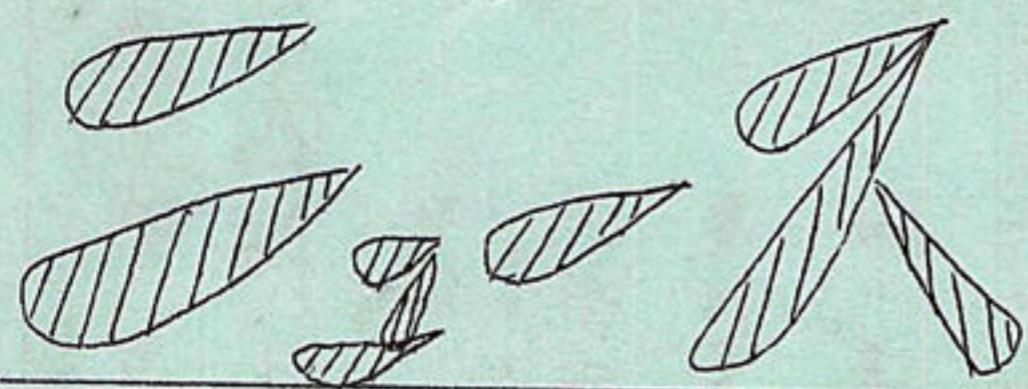
シジューカラ

| 例 | 会 | 6月 14日 | (GK) |
|----------|---|--------|------|
| PM. 6:30 | | | |
| S | | | |
| 9:00 | | | |
| 於 婦人会館 | | | |

6月担当 藤井 美琴子
04/22
1476

- 本部会費、支部会費の納入先は
阿部 早苗さん よび
- 個人山行がありましたら「ニュース」担当者に
お知らせ下さい。

お知らせ



昭和47年5月14日発行
SHC 横浜支部
横浜市磯子区岡村町竹橋763-23
〒235 山田 進
編責 竹田 明・脇 美英子

第211回 支部山行

鳥帽子・湯ノ丸

7月9日(日) 前夜発日帰り
雨天中止

<コース>

上野 $\frac{0:22}{\text{信州15号}}$ 4:37 上田 $\frac{6:15}{\cdots\cdots}$ 6:48 真田 $\cdots\cdots$ 角間温泉
 $\cdots\cdots \rightarrow$ 鳥帽子 $\cdots\cdots \rightarrow$ 湯ノ丸 $\cdots\cdots \rightarrow$ 地蔵峠 $\cdots\cdots \rightarrow$
 小諸 $\cdots\cdots \rightarrow$ 上野

<歩程> 約6時間

<費用> 約2,400円

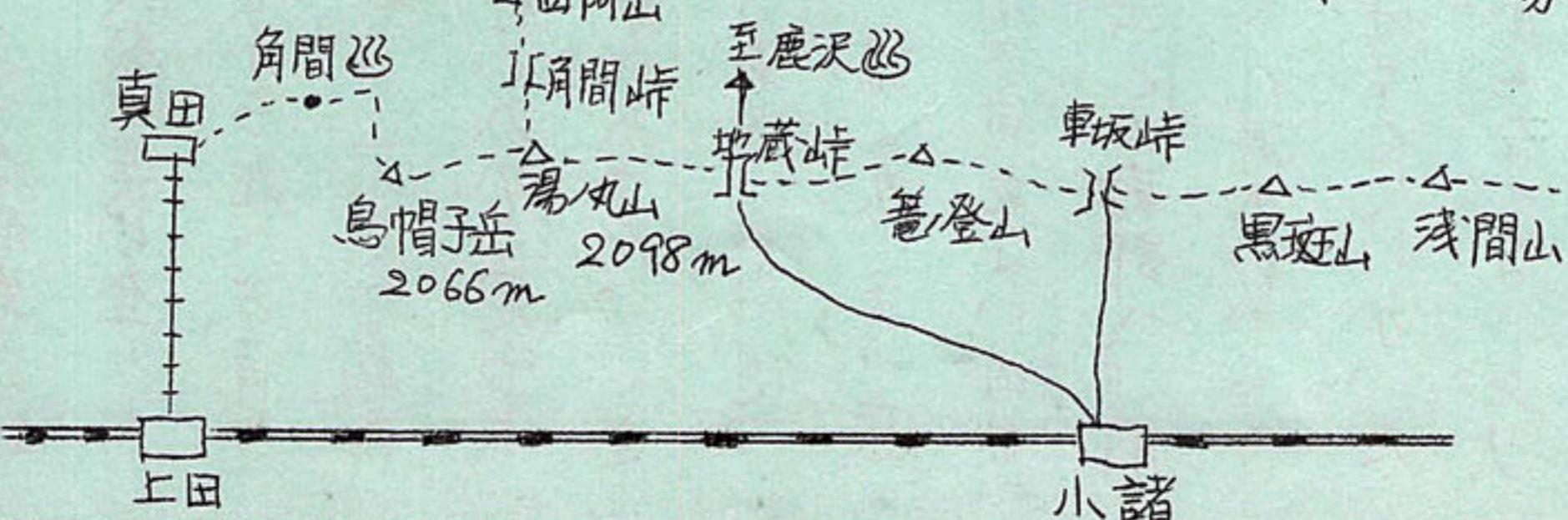
<集合> 7月8日(土) P.M. 9:30

/ 横浜駅7.8番線末へ地下道上

<持ち物> 弁当2食、雨具、etc...

<係> 山田進 045(761)1938

緑したたる鹿沢の山々、標高2,000mにある高原の牧場です。



四阿山 5月21日

（参加者）（係）竹田 明、吉田 典子

久保田 治、碇 清人、渡辺 開代、

渡辺 三世子、北村 多美子、

脇 美英子

深夜料金解除の五時、上田をタクシーで出
発し、鳥居峠に向った。車窓からは北アル
プスが雲の中に入見え隠れしていた。峠から
なだらかな道をあなたをすかせながら行く。
景色がいいというピーコクまでがんばらせら
れ、七時頃やつと朝食。一時間ほど歩いた
後なので、食飯のはずむ事、お昼が心配。

しばらく休けい後 今度は的岩へ。何か自

然が作った物とは思えないような的岩を過
ぎると、いよいよ四阿山へ続く長い登りと
なる。四阿山を見れば、右から左へ大きく
まわり込んだ正面にピヨコンと小さな頭を
出していた。あそこまで行くのかと思うと
……。樹林の中には残雪があつた。ここ
を抜けろともう目の前だ。あゝ、やつとつ
いたゞ！ 洋間、島帽子、湯ノ丸、美ヶ原
北アルプス、北の方はガスで見えないのが
残念。記念撮影後、根子岳との鞍部へ。前
に来た人達にはこの鞍部への道がわからな
くて困ったそうな。今回ほすぐによかつた
が、途中残雪の為道がわからなくなつたり、
すべつたり、ころんだり。そんな内にも鞍部

へ降り立つた。気持ちの良い草原。雪をと
てきてジュースを飲んだりお昼を食べたり
のんびり昼寝でもできたらうなあ、そんな気
をふこさせような所だった。さあて、最
後の登りは根子岳、ガンバラナクツチヤ。
頂上は広くてゆつたり。最後の頂上だから
といつてあまりゆづくりもせずに下り始め
る。白樺の林を歩いたり、牧場のような草
原かあつたり、あまり気持ちいいのでどう
とう腰をあおしてしまつた。空にはひばり
が舞いステしオ放送。地にはオキナケサヤ
アズマギクがあたたかい春の日差しをあび
今日一日の静かな山行のフィナーレを飾つ
ていた。

夏山個人山行

のお知らせ

~~7月2日 日光太郎~~

~~申込 善波英雄
(0463)2215774~~

~~8月9日(水)～十三日(日)~~

北アルプス裏銀座縦走

(鳥帽子岳～笠ヶ岳)

前夜発四泊五日

~~申込~~

~~6月末日まで
碇 清人 (045)951-1422~~

~~8月6日(日)～15日(火)~~

屋久島

前夜発九泊十日

~~申込 6月25日まで~~

渡辺 三世子 (045)891-17852

お知らせ

* 新入会員紹介

杉山秀司

横浜市戸塚区川上町三一八
川上団地四九一四〇六

鈴木富子

横浜市南区永田町二二
細谷アパート

* し、だ、レ、24号原稿募集
た、だ、今、し、だ、の、原、稿、を、募、集、し、て、い、ま
す。一、れ、か、ら、夏、山、へ、行、く、方、か、た、く、さ、ん
い、う、し、や、る、と、思、い、ま、す、の、で、帰、つ、き
た、ら、そ、の、時、の、樂、し、い、思、い、出、等、を、書、
て、送、つ、て、下、さ、い
あて先

石川一男 T227 磯子区岡村町 735

吉岡信子 T227 緑区長津田町 1460

* 個人山行がありましたら左記へお知らせ下さい。

脇 美英子 0463-22-1476

6月25日までに必着の事。

行事報告

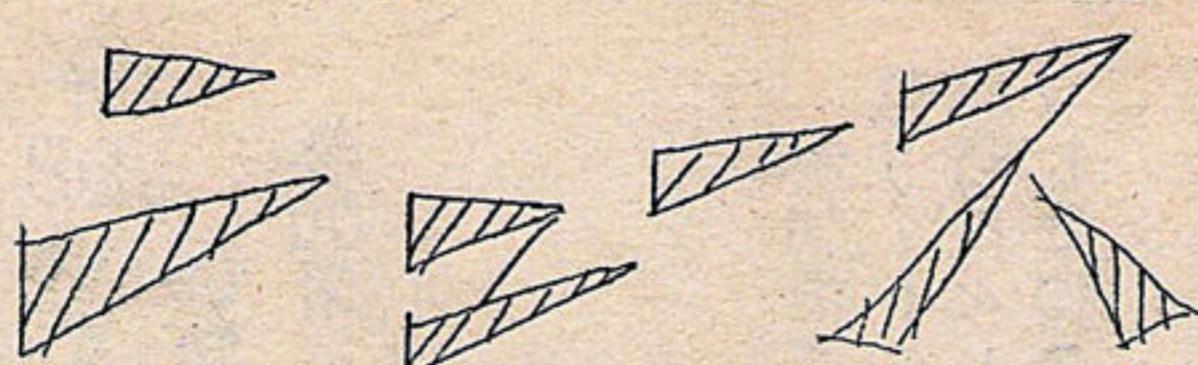
5月10日 例会婦人会館
5月21日 第208回 四阿山
6月4日 第209回 ラリー

108名 26名

行事予定

6月17日～18日 一泊二日前夜発
高妻山・乙妻山 要申込
係 山田進・久保田治
集合 6月16日(金) PM9:30 横浜駅

| | |
|---------|-----|
| 例 | 会 |
| 7月12日 | (水) |
| PM 6:30 | |
| S | |
| 9:00 | |
| 於 婦人会館 | |



昭和47年7月12日発行
SHC 横浜支部
横浜市磯子区岡村町竹橋
〒235 山田進 763-23
編責 竹田明・脇美英子

オ 212回 支部山行

夏山「朝日連峰縦走」

'72 8月3日(木)～6日(日) 前夜飛3泊4日

コース： 羽越線鶴岡駅=バス= 大鳥=トラック= 黒沢
小沢-----大鳥小屋(大鳥池)-----以東岳 -----
1771M

三方境-----寒江山-----龍門山-----西朝日岳-----
1657M 1814M

大朝日岳-----朝日鉱泉=====黒鴨=====鮎見駅(長井線)
1870M

→ 東京へ

地図：1/5万 地形図 荒砥・朝日岳・大鳥池・湯殿山

持ち物：食料：キスリング：寝袋：雨具：着替：帽子：

防寒具：水筒：電灯：保険証：食器：医薬品：等

テントの場合はテント一式

係：連絡先 石川 一男 045(761)1317
申し込み制

* 詳細は後日の打合せにて説明します。

南北に60kmの連峰は、東北で最も原始性が保たれた場所の一つで、高山植物、豊富な残雪やブナ林が見事。草原状の縦走路は静かです。

オ 209回 支部山行

霧降高原

凸

参加者 係 久保田 和

鈴木 满代
国之、

吉岡

信子、

渡辺

関代、

石川

一男、

吉原

正夫、

鈴木 善波
美英子、

英雄、

駒田 日出子

横浜、新橋、浅草、東武日光を経由して、
長い列の最後部を受け持つて出発した10人は、
賞品の赤サブザックをあてるべく一致団結。これ
ノロノロの登山道は脇見運転が続発、「これ
は何ツヅジかしら」と観察しながら歩くハイレ
キンケラリーのモットーが浸み渡る。なんと
か持ち堪えるよう祈祷つていた空からは不
ツボツリ。傘を片手に丸山への道を辿る。

ハクサンイチゲに喜ぶ10人。これは最後部の
幸わいと高山植物の観察を一頻り。雨天の為
大山は中止。のんびり霧降の巔へ向かう。線
とツツジの中の下山道はなかなか見事。二百
人の目を楽しませてくれる。最後のチエック
ポイントも無事通過。ハクサンイチゲとツツ
ジと軽登山靴と青サブザックと地図と貯切り
の電車バスが本日の収穫。
残り物には福があるの格言お忘れなく。ラ
リーに参加すると賞品があたるかも知れな
こともお忘れなく。次回も奮ってご参加を。



オ 213 回支那山行

木地小屋沢

8月20日(日) 雨天未定

〈歩程〉 約6時間

〈費用〉 約600円

〈持ち物〉 弁当1食、雨具、替靴下、足袋、フラジ等
(現地調達)

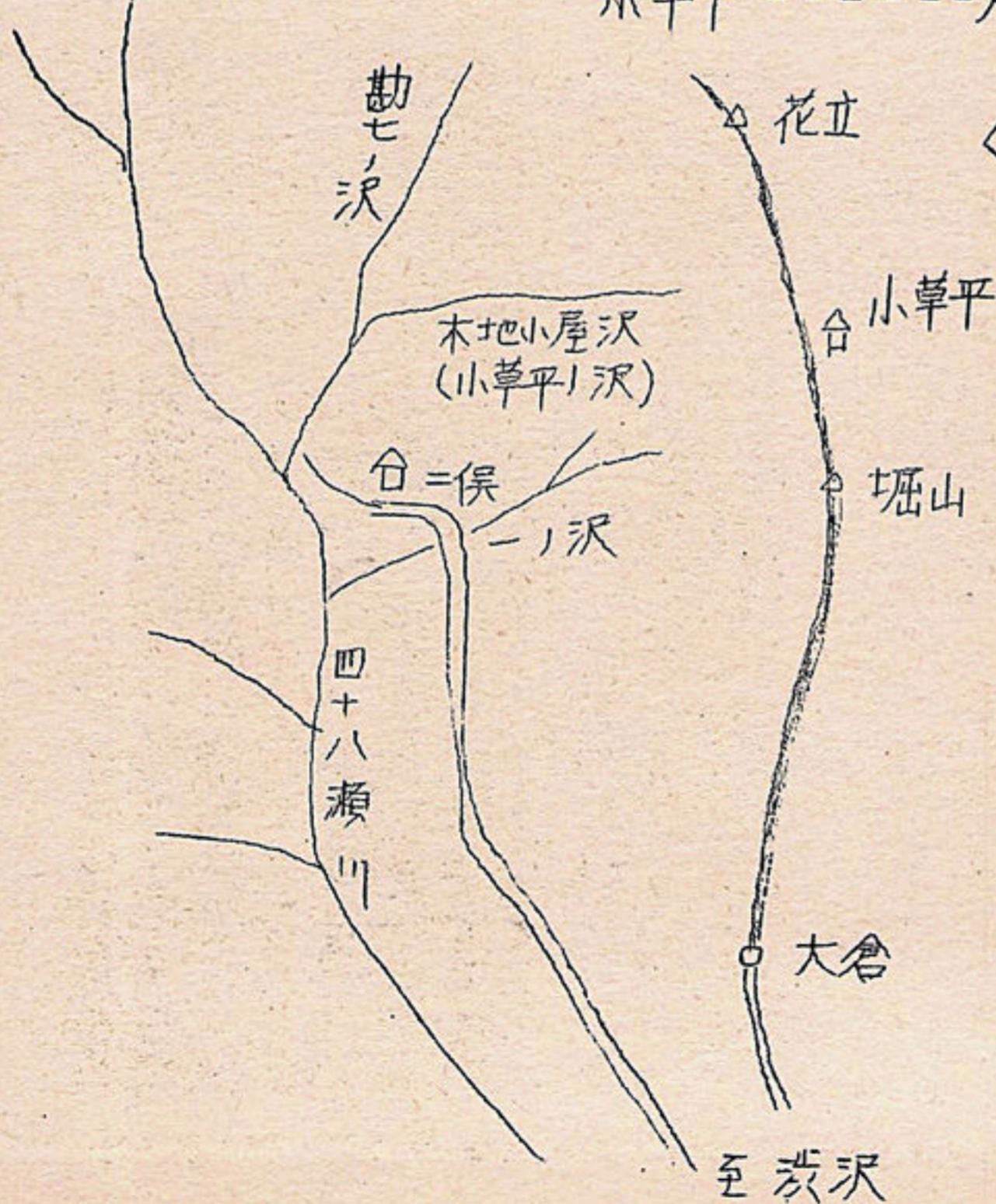
〈集合〉 20日(日) 7:00

横浜駅 相鉄線連絡口 (茨沢駅8:30頃の予定)

〈係り〉 石井 春男

吉岡 信子 TEL 981~9798

〈コース〉 横浜---茨沢---大倉---二俣---勘七沢出合
-----小草平-----大倉---茨沢-----横浜



〈地図〉 1/5万 秦野

木地小屋沢は大倉尾根の一角、小草平の台地から四十ハ瀬川に俣上部で勘七沢に注入している。1キロトリレ程の小沢であるが、沢筋は急傾斜な河床が続き、大小十数個の滝があり、小さなカヌリにおもしろみのある沢である。

山田屋
四連山
名
西

朝日連峰は昭和25年に磐梯朝日国立公園の指定を受け、山形、新潟の県境につらなつてゐる。北海道の大雪山国立公園に次いで、わが国オニ位の面積を持つ。

越後山脈の北端に位置していゝが、荒川をへだてて南にそびえる飯豊連峰と成因を同じくする花崗岩の隆起山塊である。主脈中の最高峰大朝日岳は一、八七〇Mで標高においては誇るところはないが、主稜線や、これを囲む山容は非常に重厚さをもつてゐる。いつたん主稜線上れば、ゆたかな起伏が延々とつらなり、おおらかな山容をひうげてゐる。一方山腹を刻む渓谷は、稜線の雄大さとはかわり峻嶮をきわめてあり、山に深さと変化を与えていふ。北日本における最大の峻峰群であるところから、飯豊連峰となうんで東北アルプスと呼ばれてゐる。

東北地方には三本の山脈が南北に走つてゐ

て西の日本海側に出羽丘陵と越後山脈、中央には奥羽脊梁山脈、東の太平洋側は北上山地と阿武隈山地などがあり、これら三本の山脈群のうちで最も西側にある朝日連峰は、冬の偏西季節風をまともに受けるので全国有数の多雪地帯である。又、多雪強風の為山容は興味ある雪蝕地形をとどめ、盛夏にいたるまで残る多量の雪は、植生のうえにもゆたかな変化をみよぼしていゝ。

冬季の偏西風による積雪は、特に主稜の東側に雪庇や雪田となつて発達して残り、少しずつ東側の山腹を解析浸食して、東西非対称の地形を作りあげる。大朝日岳と中岳の鞍部、竜門山から寒江山の間等に、この地形がはっきり見られる。

高山植物は緯度が北に寄つてゐることもあるが、三千M級の中部山岳に匹敵する。稜線は大部分乾性のお花畠であるが、鞍部にはみごとな湿性のお花畠が発達していふ。種類は必ずしも多くはなく、特産種もないが、スケールは大きく、大朝日岳、以東岳の主稜線に展望も、月山、鳥海、蔵王、栗駒、飯豊、

佐渡が島等、好展望に恵まれてゐる。

お知らせ。

新人会員招介

松井 千枝子

横浜市戸塚区岡津町二・七〇〇

齊藤 邦子

横浜市神奈川区六角橋 659, 29

飯田 恵子

横浜市旭区川井宿町 75, 20

個人山行

7月30日～8月2日 場所未定

申込 鈴木 国之

045(741)2642

例会
8月9日
(水)
PM 6:30
～9:00
於婦人会館

8月の例会・ニュース担当は山田さんです。
7月25日 応着で左記へ送つて下さい。
山田進 横浜市磯子区岡村町竹橋ク63, 23

行事報

6月14日 例会婦人会館

6月17日～18日

21回

高妻山・乙妻山

7月2日

21回

鳥帽子・湯ノ丸

8月3日～6日 夏山
21回 支部特別山行

朝日連峰縦走

行事予定

25名

昭和47年8月9日発行
 S.H.C 横浜支部
 横浜市磯子区岡村町竹橋
 T255 山田進 763-23
 徳島 山田進・阿部早苗

オ215回 支部山行

赤見山行 (カモシカ山行)

中元 表尾根—三ヶ峰 総走

9月9日(土)～10日(日)

雨天中止

〈持ち物〉弁当2食、防寒具、雨具、水筒、携帯電燈

入費用〉約700円

〈コース〉大秦野バス—ミノ毛——ヤビツ峰

——塔ヶ岳—(童ヶ馬場で朝寝)—三ヶ峰——宮ヶ瀬

——バス 松原木

〈集合〉 9日(土) 19時

横浜駅 相鉄線 2番ホーム 前部

〈係り〉 渡辺三世子 891-7852

阿部早苗

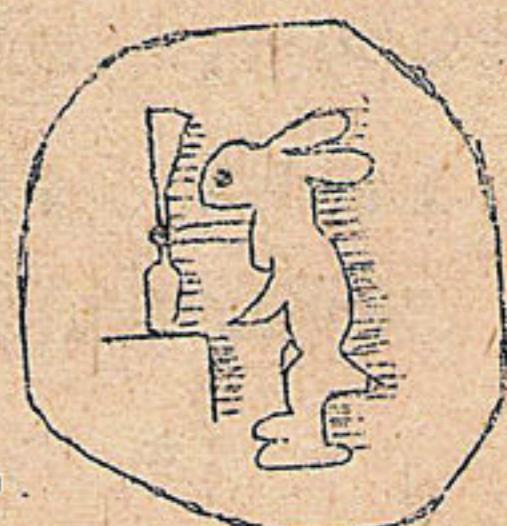
〈歩程〉 11時間



朝寝のである山行なんて めったに

ありません、みんなで朝寝をしましょ。

但、童ヶ馬場にはフトンはありませんゾ



第21回 支部山行報告

鳥帽子・湯ノ丸 7月2日

☆ 参加者 (係) 山田進、久保田治、善波英雄、吉岡節子

北村多美子、吉田典子、鈴木富子、飯田初枝、飯田恵子、斎藤静子

計10名

☆ コースタイム 上り ~~23:59 4:05~~ 上田 ~~25分~~
タクシー 角向巡 6:40 7:40 角向山崎分キ

7:55 10:40 鳥帽子岳 11:40 湯ノ丸山 12:05 13:40 角向山崎 14:00 14:30 旧鹿沢巡

~~14:35 14:35 上田 14:45 14:45 上の~~

早朝、上田駅に降り立った時は、厚く雲がたれ込み、

梅雨時から仕事ない、まずは角向温泉まで行こう

であろう、とこうことになりました。でも車に乗って走り

始めると、薄日がさして来て、あちこちに山が浮かび上がって来ました。

次第にはっきりとした形になってきてみんな大喜び。一日のステキな幕明けの

感でした。そんな感じで角向温泉に着くと更には、晴れる様な青空となって

いました。この温泉は山の中の静かな、感じの良い温泉で、雨でも降って

いれば一風呂といふ事にあつたので、上天気、身仕度をして出発といふ

ことになりました。むせかえる様な緑の中、涙をいいの道が読れます。

車の水は連日の雨で濁っていましたが、その雨のおかげで木々の葉は水をよく

木の奥越しには樂しくなる様な青空です。初参加者の多かったメンバーですが

ピシリと早くみんなどんどん歩きました。やがて道も次第に急になり、涼しい

木陰をとひだして、かんかん照りの中、まきまでのステキな太陽が

憎らず太陽に早変わり。シグサグを何度も繰り返し、鳥帽子岳の稜線に出ました。



ヒアルロースが見えました。穂高も、槍も、思わずため息が出ました。いい在あり。早速大休止。

みんな腰を落ちつけ





まわりには花もハッパ。レンゲシシジ、あやめ
ぐんなフウロ、はくさん千鳥、べにはなちやくとう
それに、ハオカガミ。記念撮影をして
のんべり鳥帽子の頂上に向かいました。

頂上からのながめは抜群です、薄向か煙を
薄く引いて頭だけ見えます。そして目の前はなだらかに続く笹と
レンゲシシジの湯の丸。

鞍部に気持ち良さそうな所があるのを、そこまで行って大休止と
することになりました。一気に鞍部まで下り、少し登った所で
昼食。お湯をあかして係りが紅茶をサービス。
木の陰でみんな思い思ひに、小1時間過じてから最後の登りに
かかりました。湯の丸の頂上は、車ですぐ下の地蔵峠まで上にある
せいかつて、人がハッパ。ゴミもハッパ。ハッパリです。
そろそろにきりあけ角南峠に下りました。

頂上を離れると又静かで、あっていらぬに、レンゲシシジ咲く
気持ち良角南峠に到着、白いヤシキで一休み。

田鹿沢温泉までは湯の丸を右に見ながら又、

一気にかけ下りました。バス停のそばの家の下の坂に
おだまきが、今をさぶりに咲いていました。

あんまりたくさんの花たのを、とまどってしまいました。
バス停では冷たい水で顔を洗い、のどをうる
おし、今日の山行も無事終了。

吉田記

横浜駅に行くと新しい人はかり、少々とまどいました。
係りでありますから今日の山行はあまり乗りきりは左かった
自分がなんだかはさかしく思い反省することともに
もう少し古い人も来てほしかった、そんな気持でした。





第210回特別支部山行報告

高妻山・乙妻山 6月17日~18日

(参加者) (係) 山田進 久保田治

杉山秀司、朝倉修三、足立久子、鈴木満代 / 計6名

(コースタイム) 上の ~~タクシー~~ 黒姫 ~~タクシー~~ $\frac{タクシードラム}{25分}$ キャンプ場 8:50---9:40 -不動

10:05---11:00 五地蔵岳 11:25---13:00 高妻山 13:20---14:05 乙妻山

14:30---15:15 高妻山 15:40---16:40 五地蔵岳 16:55---17:00 -不動小屋

6/18 小屋 8:40---9:55 キャンプ場 $\frac{\text{バス}}{11:00 \quad 12:15}$ 長の ~~タクシー~~ 上の

黒姫からタクシーに乗り、戸隠牧場の入口まで入ってもよう。牛に止め、こしながら、牧場を通り抜けると、沢伝たついに登りになる。1時間程で最後の水場になる。休憩しながら木簡にいはばーめる小屋でサブザックにかえ、稜線に岩ガミヤニシコウキスケが咲き、これから高妻山、乙妻山への長く続く登降に楽しまれてくる。

五地蔵岳で目にする高妻山がやっと見ることができ、又展望が良く、妙高火打、黒姫、飯縄、北アルプス。雲にかすんで上越方面の山々が見えた。

くっかのピークを越え、高妻山のスッタとそべえ、いかにも険しい感じで実に辛しく、頂上に達するやう「力」がぬけ、その場にすわり込んでしまう。

休憩後、記念撮影し、さうに先に進む。道は熊ササとはい松に被られ阻まれ、藪こぎをする。かきわけて進み、やっとの思いで乙妻山に達することができた。

頂上は熊ササの原で、のんびりしていかたいが、カスカスしてきたので小屋への帰途に達った。

どうにか日がくれぬ内に小屋へつくことができ※ (Next Page)

④ 大変に苦しかったが、頂上からの展望がすばらしかったので、
良かった。山の良さを感じさせる山であった。 —朝倉—

* 食事のしたくにとりかかる。

“今日一日は良く歩いた。”

翌2日目は残念なことに、雨模様で、戸隠山へは行かず、
牧場へ下る事に変更した。

戸隠山の思ひを残して下り、バスにて長野へである。

(朝倉記)



一言

④ 新ハイ横浜支部に入会して初めての山行でしたが
少々バテました。いつもはこのぐるいきついのかと
不安になりましたが、今回はとくべつとの事で、安心
しました。今後ともよろしくお願ひします。

高妻山のピークの美しさと、雪をいたたいたヒマラヤ
の大パノラマが印象的でした。 —杉山—

④ 高妻山の最後のつめは苦しかったなあ、頂上から裏へ廻ると
その姿は全く異なってそそり立つ岩山、石がゴロンゴロンしているのに
お花が豊富で特にシラネマオイはすばらしい、キビシかった山行、でも
それ以上の価値はありました。幻想的な戸隠牧場に一せされ
野バラの季節に再来を約して。 —足立—

④ 戸隠キャンプ場着目の前に広がる牧場と白樺林、そして戸隠連山の雄々しい
姿、小鳥の声、もうニニギ十分満足! 何っていったのに-----。高妻山はその
何倍もすばらしい山でした。沢山の高山植物にかこまれ、左手になっかい
ヒマラヤの山並を一直線にながめたオトの樂しい山行でした。
気持の良い印象でいっぱい。同行の皆さんありがとうございました。 —鈴木—

④ 2日目に雨が降ってこれで登らなくてすんだと

大喜びしました。さちかは係か山田さん、雨はほんとうにいいですね
—保田—

④ 今回の山行は土井シタ、ほんとうにエカシタ エカシタ

オ213の支部山行

木地小屋沢

8月20日(日) 雨天決行

コース 横浜——辻沢——大倉——二俣——勘七の沢

始合——小曾平——大倉——辻沢——横浜

持ち物 年当一食、雨具、替靴下、足袋、ワラシ etc.——
(現地調達)

集合 20日(日) AM 9:00 横濱駅 2番ホーム
前部 (東京駅 8:30予定)

係り 石井春男

吉岡信子 TEL 931-9798

その他 くわしくは前号を。

たれでも 登れる渠です。ちいさりまくらをなまこ石井
あじさんと、やさしい吉岡さんの後りです。まとて毎にか
いにこかまこニリモラを そんまな氣和します。



花言葉

リンドラ —— 薫たが悲しい時愛する(連れの愛情)

えんれい草 —— 熟麻の美

りゅうきんか —— まと来る幸福

ほくさんちどり —— すばらしい、美点の持主

あだまき —— 勝利の誓い・すなあ

つづじ —— 愛のよろこび

あじさい —— 変わやすい心、冷淡



支部山行

合同キャンプ。

丹沢滻沢キャンプ場

8月26~27日

コース 滜沢 — 大倉 — 滜沢キャンプ場

費用 約2500円(含.交通宿泊、参加料)

持ち物 雨具、水筒、電灯その他主なものは

係り 中野善雄

横須賀市濱賀町1-55 京浜国地 10-206

要連絡

翌日(27日) 追跡ハイキング

コース 滜沢山荘 — 作治小屋 — 堀山小屋
— 大倉 — 滜沢山荘

購入しました

。コジアニル。(62)
。スコシア
。新リタミホリタン(61)
ナバ

○ 購買上りお願い

会員があつて四十月になりますが
従員は皆さんのために少しでも
楽し、山行をと頑張ってます
ところが今以上に楽しくするためには
皆さんの御意見、希望、不満
あります。なんでも気の付くことか
その他のなんでもおきやせ下さい。
手紙、電話、その他どんな方法
でもかまいません。代表又は役員
までお願いします。

-1-



9月の例会は8時に切上げ

「行事報告」

8月326日 オ21回

特別支部山行

十四名

その後は近くの茶店にて

朝日連峰縦走

新しく人も古い人もみんな顔を

7月12日

例会 婦人会館 20名

近づけてお話をしましょう。



「募集」

只今、ア24号の原稿を大

8月20日

オ213回支部山行 木地小屋沢

募集中です。夏山も終り、材料

8月26~27日

オ214回支部山行 本部合同キャンプ場

の方もだいぶたまりましたね。係りは

9月10日

オ215回支部山行 丹沢お日見山行

あなたの原稿のくるりを首を長くして

待っています。係り 石川一男

TEL 761-1938

1460

735

④9月のユース担当は山田です

個人山行その他ユースにせたことが
ありましたら早目に左記へお願ひします

〒235 横浜市磯子区岡村町竹橋763-1-23 山田進

TEL 761-1938

例会

毎月は火曜日テス

9月12日(火)

P.M 6:30~9:00

於 婦人会館

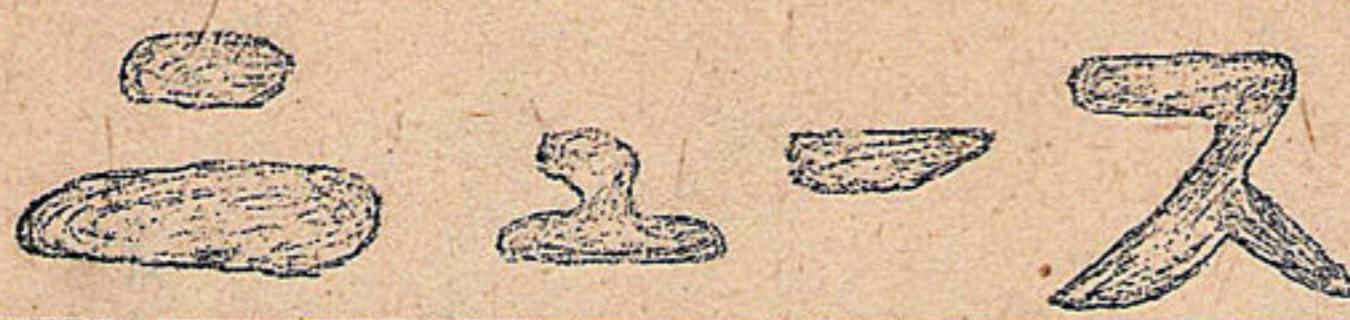
昭和47年9月12日発行

SHC 横浜支部

横浜市磯子区岡村町竹林

〒235 山田 遼 763-23

編責 山田遼・阿部早苗



オ216回 支部山行

石尊山 1667.7M

10月15日(日)夜行日帰り

コース 上の峰 — 小諸 — 車坂峠 — — — トニの頭
 — — — 史山館 — — — 天狗の棲越 — — — 石尊山
 — — — 追分駅 — — 上の

費用 約2200円

持ち物 弁当2食、雨具、水筒、懐中電燈 etc...

集合 14日 P.M 9:00

横浜駅 7、8番線ホーム地下道上

係り 斎藤隆子 241-8651

佐々木美智子 871-4122

歩程 5時間

地図 1/5万 軽井沢

からまつの林を出でて 浅向嶺あさむかねにけうり立つ見つ
 浅向嶺にけうり立つ見つ からまつの又その上に

—白秋—

才212回 特別支部山行報告

「朝日連峰縦走」

参加者 約石川一男

久保田治・中野善雄

山田進・横山勝利

井出貞晴・朝倉修三

渡辺角代・吉田信子

吉田節子・松井百合

吉田典子・他二名

コース

鶴岡駅バス→大鳥トランク→逆滝ダム

↓大鳥池(小屋有)

↑停滯

↑小屋↓オシホ峰↓以東岳↓

三方境↓寒江山↓立山

↓中岳↓大朝日幕営場

↑小朝日↓鳥原山↓白龍

↓山形○上り

才213回 支部山行報告

「木地小屋沢」

参加者 約石井春男

久保田治・石川一男

朝倉修三・斎藤隆子

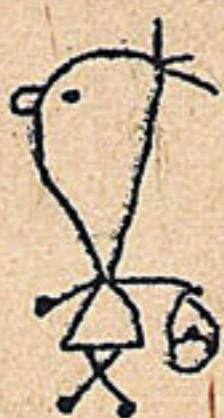
駒田日出子・他一名

コース

猿沢→大倉→二俣

↑甚七の沢出合→小草平

↓大倉→猿沢



個人山行

△ 9月 23 24日 両夜行 1泊2日

「玄津駒ヶ岳・田代」

係り、助 美英子

TEL 0463-1476

9月 24日まで

△ 9月 23 24日 1泊2日

「志賀・野反湖」

「御岳・大暮山行」

係り、鈴木 国之

TEL 741-12542

但

3回以降の支那山行
参加者たるる

10月 29日 (日)
日帰り

陣見山

ハイキング
ラリー

10人 1ヶ月-
で行ないます

係り 未定

△ 9月 23 24日 両夜行 1泊2日

「秋田駒ヶ岳」

係り、久保田 治

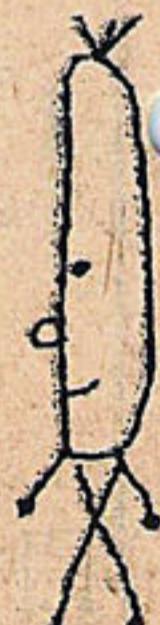
TEL 241-5380

△ 10月 8 9 10日 2泊3日

無人小屋道り

係り、上田 達也

TEL 761-1938



お知らせ

(音響報告)

新人会員招集

宮代信子

中郡大磯町大磯 1096

◎『だ』24号ノ切迫まる◎

今月の例会で原稿用紙をあたします。

会場は

木地赤屋

06西21日午後5時半山形
木地赤屋

七名

「だ」にあなたの筆書きした文が見えあ
たうな、なんごとでも書いたも

ないナア、
十一月の例会もござります。早速に

(係) 石川一弾・土田四喜子

十月のニュース担当は佐々木です、

個人山行、その他ニュースとのせた
二三がありましょん左記まで

横浜市戸塚区吉田町1188 佐々木美智

| | |
|-----|-----------------|
| 例 | 10月(木)日 |
| 11日 | P.M 6:30 ~ 9:00 |

於 婦人館

159
No.158-1-

ユース

昭和47年10月11日発行

SHC 横浜支部

横浜市磯子区岡村町竹橋763-23

〒235 山田 進

編集 善波英雄 佐々木美智子

第218回支部山行

(上州)

子持山

11月26日(日)

夜行日帰り
(雨天中止)

〈コース〉

上野 - 淀川 - 子持山入口

子持神社 - 奥の院

千石平 - 寺尾 - 沼田

〈費用〉

¥1500

〈集合〉

11月25日(土) 20時

横浜駅7番線ホーム地下道上

〈係り〉

渡辺潤代

(TEL) 241-1819

善波英雄

(TEL) 0463-22-5747

〈歩程〉

6時間

〈持5物〉

弁当2食・防寒具・雨具
懐中電燈・水筒
etc

〈地図〉

中之条・沼田

N0.158-2-

第216回 支部山行

石

尊

山

(1,667.7M)

10月15日(日) 夜行日帰り

〈コース〉 上野 - 小諸 - 車坂峠 - トミーの頭
----- 火山館 ----- 天狗の乘越 ----- 石尊山
----- 追分駅 ----- 上野

〈費用〉 約2,200円

〈持ち物〉 弁当2食・雨具・水筒・懐中電燈 etc---

〈集合〉 10月14日(土) P.M 9:00

横浜駅7・8番線ホーム地下道上

〈係り〉 斎藤隆子 241-8651

伍々木美智子 871-4122

〈歩程〉 5時間

〈地図〉 1/5万 軽井沢

落葉松

からまつの林を過ぎて
からまつをしみじみと見(見)
からまつはさびしかりけり
たびやくはさびしかりけり

からまつの林を過ぎて
からまつの林に入りぬ
からまつの林に入りて
また細く道はづけり

からまつの林の奥も
やが通る道はありけり
霧雨のかかる道なり
山風のかかる道なり

からまつの林の道は
ゆめのみかひともかゆむ
ほそぼそと通う道(なり)
さびざびといそぐ道(なり)

からまつの林を過ぎて
浅間嶺にげがり立つ見(見)
浅間嶺にげがり立つ見(見)
からまつのまたそのうへに

からまつの林の角は
さびしけどよよしづけし
かんこ鳥鳴けるのみなる
からまつの淵なるのみなる

世の中はあはくなりけり
常なれぬどうせしかりけり
山川山がはの音

からまつにからまつのかぜ

銀色の道

遠い遠い遙かな道は
冬の嵐が吹いてるが
谷間の春は、花が咲いてる
ひとりひとり今日もひとり

銀色の遙かな道

三、続く続く遙かな道を
暗い夜空を迷わずに
二人の星よ照らしておくれ
連れ近い夜明けは近い
銀色の遙かな道



お知らせ

★10月5日(木) 又保田さんご夫妻の
媒酌により、石川一男さんと、吉岡
信子さんが、結婚致しました。

新居は、歳子区岡村町⁵⁹⁹ たばか荘

☆2月スキー予告

2月4日～6日 蔦玉スキー場
サービスセンター 堀久旅館

★「しだ」24号原稿〆切。11月例会まで。
石川さんご夫妻へ 提出して下さい。

★個人山行

10月22日 里姫山 (夜行日帰り)

又保田 電話 241-15380
山田 ハテ61-19380

行事報告

9月9日～10日 カ25回支部山行
丹沢表尾根～三ツ峰縦走 雨天中止

9月12日 例会 於婦人会館

行事予定

10月5日 カ26回支部山行 石尊山

(係) 斎藤(隆) 佐々木

10月29日 陣見山ハイキングラリー

例会
11月8日(水)
P.M 6:30
9:00
於 婦人会館